

活が出来ないのです。それを情けない、とも恥ずかしい、とも思いません。一人で通勤するようになると心配で心配で、電車はどこで降りるんだ、何しに行くんだ、とドラマにもある「ここはどこ、私はだれ」という感じでした。病前の記憶、判断力に戻るには長い長い歳月が要りました。

退院後、数ヶ月は家でぶらぶらしていました。リハビリとして家のまわりを散歩していましたが、犬を連れるなど、とてもできません。また、つっかけが履けないのです。足下が不安定で靴でないと歩けません。つっかけを足に密着させる指の器用さが無いのです。また、平衡感覚も弱っていました。医者は5年で元に戻るか、どうかと言っていました。今や10年目です。退院したばかりの時は、会社にすぐに復帰はできず、嫁さんの付き添いの元、通いました。

一人で出勤するようになってからが、大変でした。時間認識と空間認識が一番難しいものだと言うことがあらためて分かりました。小学生低学年の判断力を想像して下さい。電車の中で気が付くと果たして会社に行こうとしていたんだろうか、帰ろうとしていたんだろうか、なんてことがわからないのです。駅名でどちら方向か、なんて高等なことは出来ません。時計を見てようやく午前か、午後かの区別で出社か帰宅を判断しました。ドラマにもある「私は誰」、「ここは何処」状態です。

こんな状態では会社に行く、というだけで疲れてしまいます。会社は理解してくれて遅出の早帰りを数ヶ月続けさせてくれました。出社するようになっても、まともな仕事はできる訳ありません。日常の生活も危ういのにな幸か不幸か知識は健在でした。コンピュータ・プログラムの修正や英語の論文を訳すなどという知識に頼る部分は健在でした。でも、新たな勉強をするという意欲はありません。そういう

意味では、まさに前頭葉（創造、意欲を司るとされている）の復活にはさらに時間を要しました。

まだ、会社の仕事の復帰もままならない頃、定期的な通院で頭の手術から約半年後によく真の原因がわかりました。脳溢血を起こした根本の原因である高血圧は副腎肥大から来ていて、ホルモンを多量に出すためだ、ということがわかったのです。で、また手術です。左副腎を摘除しました。嘘のように血圧は下がりました。この副腎肥大の原因がわかったのは嫁さんのお陰です。降圧剤を飲んでも数時間でまた、高血圧にもどります。

私はそんなもんだよ、と言っていたのですが、医者には家庭での血圧の記録を見せると「降圧剤が効いていませんね」となり、原因追及の検査を行い、高アルドステロン症であることがわかりました。

その原因をさらに追求すると左副腎の肥大でホルモンをどんどん出していることが、わかりました。またまた手術です。左副腎を摘出して見事に血圧は下がりました。日に三度飲まねばならない降圧剤からも解放されました。

発病から5年後に病院から完全に解放され、もうまったく普通の生活に戻りました。脳外科手術をしてくれた病院の追跡調査も完全に終了しました。会社の定期検診でも血圧、生化学検査悪いところなしです。皆さんどうですか。対応に変なところはありますか。治ったと思っているのは、本人だけだったりして・・・。

この事件のお陰で、人生を考え直す機会を得ました。何か世の中に役立つことはないか、何か人のためにできることはないか、と考えるようになり「平成維新の会」に入会しました。この世に戻ってきた恩返しを何かせねば、と思っている昨今です。まさに、新しいライフ・スタイルを創成せねば、と考えています。

「活動協賛金」ご協力をお願い

平成維新東京の活動をより活発にするため、「活動資金」を募集しています。

多くの皆様のご協力をお願い申し上げます。

協力金：1口・2000円（2口以上歓迎！）

郵便口座番号：00120-0-772036

郵便口座名称：維新都民

日本を国民主権の法治国にしよう。

人類の幸福の向上に貢献出来る事を願って活動する

花和グループ

(有)花和ビル

(株)花和

(有)パステルハウス

(有)葉明

HANAHA

【活動協力金協力者：1998年1月12日現在19名・117口・234,000円/1口2000円】

浅見勇喜知（杉並区）5口・阿部悠逸（江東区）10口・江頭清昌（足立区）25口・小田武史（港区）2口・小野寺光（練馬区）1口・川副喜弘（文京区）5口・小枝尚（葛飾区）10口・杉原健児（調布市）15口・高野洋司（江戸川区）6口・門叶和雄（豊島区）1口・長妻昭（練馬区）1口・長妻兼三郎（練馬区）2口・中村浜一（目黒区）1口・長谷川文昭（渋谷区）5口・原澤達夫（練馬区）1口・治田桂四郎（練馬区）15口・松井孝司（文京区）4口・山崎康彦（杉並区）3口・土屋光彦（品川区）5口。

他に、御花和より広告料として15万円。

※ご協力有り難うございました。